

「民学産公」協働研究事業成果報告書

研究事業名：Poki ラッピングバスによるライフ・ワーク・バランス

普及の啓発用品の開発

平成 30 年 2 月 23 日

株式会社まちづくり三鷹

目次

1	「民学参公」協働研究事業の概要・目的	1
2	申請団体のプロフィール	
3	協働研究事業の期間	
4	協働研究事業の背景	
5	協働研究事業の詳細	2
	（1）実証実験にあたっての仮設	
	（2）実証実験の特徴	
	（3）検討経過	
	・デザイン案の検討	
	・制作物の仕様【資料1】	
	・配布先	
	・調査内容	
	・調査方法【資料2】	
6	調査結果【資料3】	3
7	広報実績【資料4・5・6】	4
8	今後の計画	

◆添付書類

- 【資料1】ペーパークラフト完成図
- 【資料2】アンケート用紙
- 【資料3】アンケート結果
- 【資料4】平成29年12月17日号広報みたか
- 【資料5】平成29年12月26日朝日新聞武蔵野版
- 【資料6】平成30年2月4日号広報みたか

成果物

ペーパークラフト

「民学産公」協働研究事業 成果報告

研究事業名：Poki ラッピングバスによるライフ・ワーク・バランス普及の啓発用品の開発

1 協働研究事業の概要・目的

三鷹市では、暮らしと働くことの調和を図り、自分らしい生き方やさまざまな働き方を選択できる社会の実現を目指し、ライフ・ワーク・バランス推進のためのさまざまな啓発事業を進めている。そのひとつとして、平成 29 年 3 月から、コミュニティバスの車体に三鷹のキャラクター「Poki（ポキ）」をモチーフにデザインした、6 台（6 色）のラッピングバスが走っている。そこで、当社では、そのコンテンツを活用したペーパークラフトを作製し、ライフ・ワーク・バランスの推進と啓発を図ることとした。

完成品は、市内小学校低学年及び保育園、三鷹市企画部企画経営課主催講座等に配布する。子どもと一緒にペーパークラフトを組み立てることにより、三鷹市の取り組みについて理解を深め、ライフ・ワーク・バランスの推進と啓発を図るとともに商品化へのニーズを探る。

2 申請団体のプロフィール

会社名 株式会社まちづくり三鷹

設立日 平成 11 年 9 月 28 日

資本金 2 億 7250 万円

所在地 〒181-8525 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ

株式会社まちづくり三鷹は、三鷹市の第三セクターとして、平成 11 年 9 月に創立した。当社は、「三鷹市と株式会社まちづくり三鷹との協働に関する条例」に基づき、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に、行政とともに、市民、地域の諸団体、企業、大学・研究機関等と連携して多種多様な事業を展開している。

3 協働研究事業の期間

実施期間 平成 29 年 7 月 20 日～平成 30 年 2 月 9 日

4 協働研究事業の背景

三鷹市では、暮らしと働くことの調和を図り、自分らしい生きかたや様々な働きかたを選択できる社会の実現を目指し「ライフ・ワーク・バランス」の推進に取り組んでいる。この取り組みを周知するため、平成 29 年 3 月から、コミュニティバスの車体に三鷹のキャラクター「Poki（ポキ）」をモチーフにデザインした、6 台（6 色）のラッピングバスが市内 5 ルートを走っている。6 色の車体には「Happy Life Happy Work」の文字と三

鷹のキャラクター「Poki（ポキ）」が描かれ、「ライフ・ワーク・バランス」の意義を広く市民等にお知らせしている。当社では、ライフ・ワーク・バランスの推進と啓発を目的に、ラッピングバスのコンテンツを活用したペーパークラフトを制作した。完成したペーパークラフトは、市内小学校（低学年）、保育園などに配布し、子どもたちがラッピングバスの存在を認識し、愛着を持つことで、保護者たちに三鷹市のライフ・ワーク・バランス事業の啓発を図った。

5 協働研究事業の詳細

（１）実証実験にあたっての仮設

この事業に取り組むにあたっては、子どもたちがラッピングバスの存在を認識し、愛着を持つことを通して、ライフ・ワーク・バランスの推進と啓発につながるかどうか。あわせて、商品化の可能性を検証した。

（２）実証実験の特徴

この検証では、市が推進している取り組みについて、その取り組みを周知するためのグッズとして、有効かどうかの検証をする。また、市が主催する関連講座でペーパークラフトを配布することで、相乗効果となるかどうか検証した。あわせて、子どもたちに配布することで、市の取り組みについて、理解を深める一助とした。

（３）検討経過

ア デザイン案の検討

平成 29 年 7 月～8 月、発注先との打合せを行い、ペーパークラフトのデザイン・形状を検討した。ラッピングバスの外装デザインは、現物のバスデータを使用した。また、ペーパークラフトとして、小学校低学年生が無理なく作ることができる形状とした。

9 月初旬より、サンプル品を提示しながら、三鷹市、教育委員会、株式会社スタジオジブリ等関係機関と確認を行った。

イ 制作物の仕様

制作数 900 部×6 色（ライム、ラベンダー、イエロー、オレンジ、スカイブルー、ライラック） 計 5,400 部 【資料 1】

サイズ A4

用紙等 コートガード 22.5、4 色片面印刷、抜き加工、OP 入り

その他 ①三鷹市のキャッチコピー『「Happy Life Happy Work」三鷹市は、ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）推進宣言都市です。』を明記する。

②三鷹のキャラクターPoki の画像と説明文を明記する。

ウ 配布先

主な配布先は以下のとおり。

関係機関	配布先	部数
三鷹市企画部企画経営課	ライフ・ワーク・バランス関連事業	約 600 部
三鷹市教育委員会	市内小学校 1・2 年生	約 3,000 部
三鷹市子ども育成課	保育園（公設公営・公設民営） ※公私連携型は除く	約 1,300 部
三鷹市道路交通課	関係先等	約 180 部
まちづくり三鷹	施設入居者・関係先等	約 100 部
まちづくり三鷹	当社講座参加者等	約 100 部

エ 調査内容

主にセミナー受講者にアンケート用紙を配付し、「三鷹市のライフ・ワーク・バランス」及び「ラッピングバス」の認知度、ペーパークラフトの効果、商品化等について調査した。

オ 調査方法

実施期間 平成 30 年 1 月

実施方法 アンケート用紙を配付 【資料 2】

配布件数 170 件

集計件数 129 件

6 調査結果 【資料 3】

アンケートの結果、三鷹市が「ライフ・ワーク・バランス」を推進していることを「知っている」が約 40 パーセント、「知らない」が約 60 パーセントとなった。この結果は、調査対象のうち市内在住者が約 51 パーセントと半数であったためと思われる。男女別では、「知っている」と答えた人が、男性が約 57 パーセント、女性が約 30 パーセントと、男性の比率が高かった。年代別では、調査対象の約 63 パーセントが 30 歳代～40 歳代に集中している中で、「知っている」と答えた人が、30 歳代は半数以上だが、40 歳代になると約 35 パーセントにダウンしている。

三鷹市内を「Poki ラッピングバス」が走っていることを知っているかの設問に対しては、「知っている」と答えた割合が約 60 パーセント近くあり、「Poki ラッピングバス」の認知度が上がっていることを示している。特に市内在住者は 70 パー

セント近くが「知っている」と答えている。

今回のペーパークラフトが「ライフ・ワーク・バランス」のPRに役立つと思うかの設問に対しては、「そう思う」が約42パーセントで、「そうは思わない・よくわからない」を上回ることとはできなかった。

「Poki ラッピングバス」のペーパークラフトを購入したいかの設問に対しては、「思う」が約15パーセントという結果となった。男女別でも、男性は約22パーセントが「思う」と答えたが、女性は約11パーセントであった。30歳代及び40歳代に絞ると、約17パーセントが「思う」と答えていることから、世代による効果が期待できる。

アンケートの結果から、市が推進している取り組みについての周知方法としてのペーパークラフトの有効性は、現時点では有効な結果は得られていない。

なお、市が主催する関連講座で行ったアンケートに限ると、三鷹市が「ライフ・ワーク・バランス」を推進していることを「知っている」と答えた人は80パーセント近く、三鷹市内を「Poki ラッピングバス」が走っていることを「知っている」割合も80パーセント近くいた。また、「Poki ラッピングバス」のペーパークラフトは「ライフ・ワーク・バランス」のPRに役立つと思うかに対しては、約54パーセントと半数を上回った。その結果、市主催関連講座の参加者は、「ライフ・ワーク・バランス」等に対する意識が高く、ペーパークラフトに対しても好意的にとらえていることがわかった。

また、当社が主催する講座でペーパークラフトを配布する際に対面でヒアリングしたところでは、ペーパークラフトが「ライフ・ワーク・バランス」周知の効果を高める可能性はあると感じた。カラフルなペーパークラフトは、特に子どもに好評で、他の色がほしいとの問い合わせも寄せられた。

7 広報実績

平成29年12月14日	三鷹市広報課よりプレスリリース
平成29年12月17日号	広報みたかの市長コラムで取り上げられる。【資料4】
平成29年12月26日	朝日新聞武蔵野版に記事掲載 【資料5】
平成30年2月4日号	広報みたかに記事掲載 【資料6】

8 今後の計画

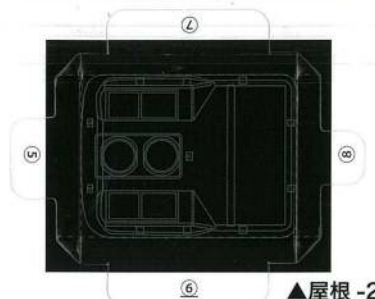
今回のペーパークラフトは、販促品5,400部の他に、販売品600部を作製し、「Poki ラッピングバス」を運行している小田急バスに600部一括販売した。今後は商品化に向けて、社内で検討を行う。

【資料1】Poki ラッピングバスペーパークラフト ライム

みたかシティバス ペーパークラフト



HAPPY LIFE♥HAPPY WORK
三鷹市は、ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）推進宣言都市です。



▲屋根-2



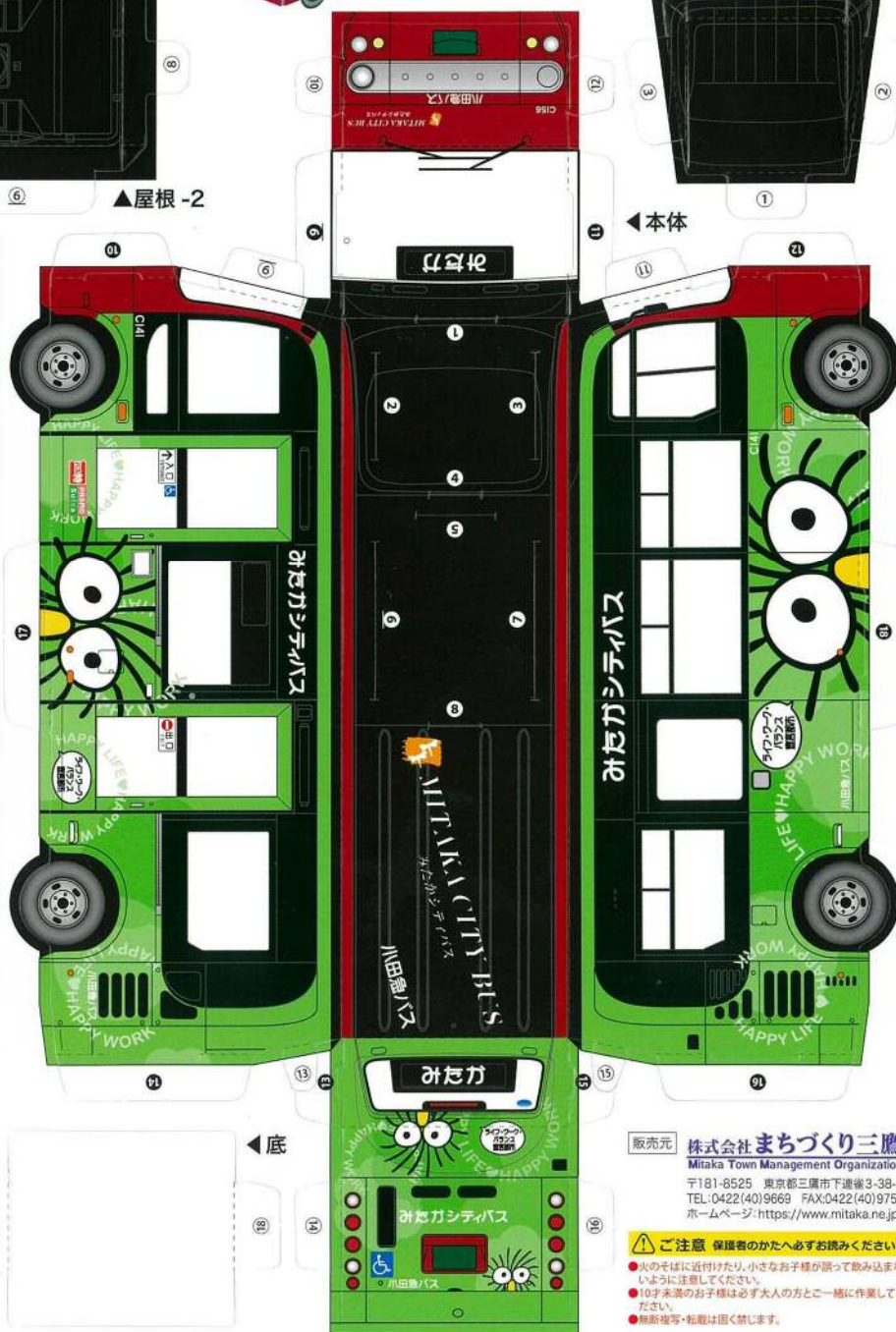
▼屋根-1

【作り方】

1. 折り線によって、やまおりに折り目をつけます。
2. 番号順に差し込んでいきます。
3. 最後に「底」パーツの⑬を①に、⑭を⑫へ差し込めば完成です。

Poki

「Poki(ポキ)」は、平成13年10月に「三鷹の森ジブリ美術館（三鷹市立アニメーション美術館）」が開館したことを記念し、館主であるスタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクターです。



販売元 **株式会社まちづくり三鷹**
Mitaka Town Management Organization
〒181-8525 東京都三鷹市下連雀3-38-4
TEL:0422(40)9669 FAX:0422(40)9750
ホームページ: <https://www.mitaka.ne.jp/>

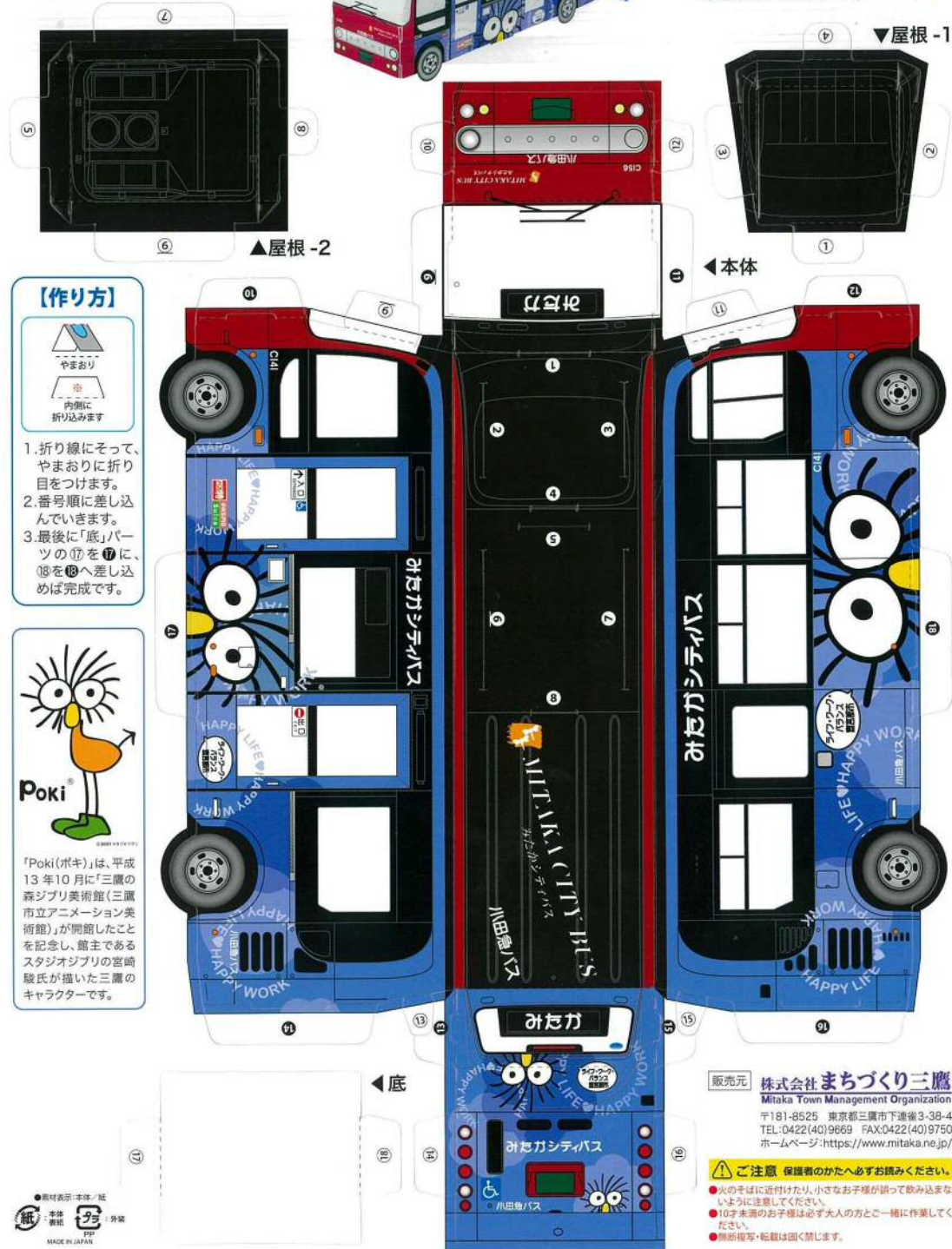
⚠️ ご注意 保護者のかたへ必ずお読みください。
●火のそばに近づけたり、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。
●10才未満のお子様は必ず大人の方と一緒にご一緒に作業してください。
●無断複写・転載は固く禁じます。

●素材表示「本体・紙」
●紙 本体 紙 外装
●PP
MADE IN JAPAN

みたかシティバス ペーパークラフト



HAPPY LIFE♥HAPPY WORK
三鷹市は、ライフ・ワーク・
バランス(生活と仕事の
調和)推進宣言都市です。



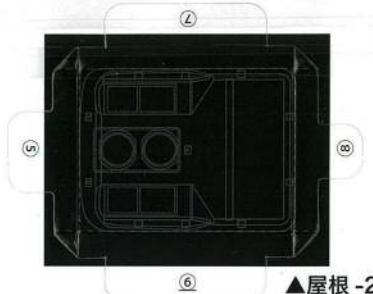
オレンジ

みたかシティバス

ペーパークラフト



HAPPY LIFE ♥ HAPPY WORK
三鷹市は、ライフ・ワーク・バランス(生活と仕事の調和)推進宣言都市です。



▲屋根-2



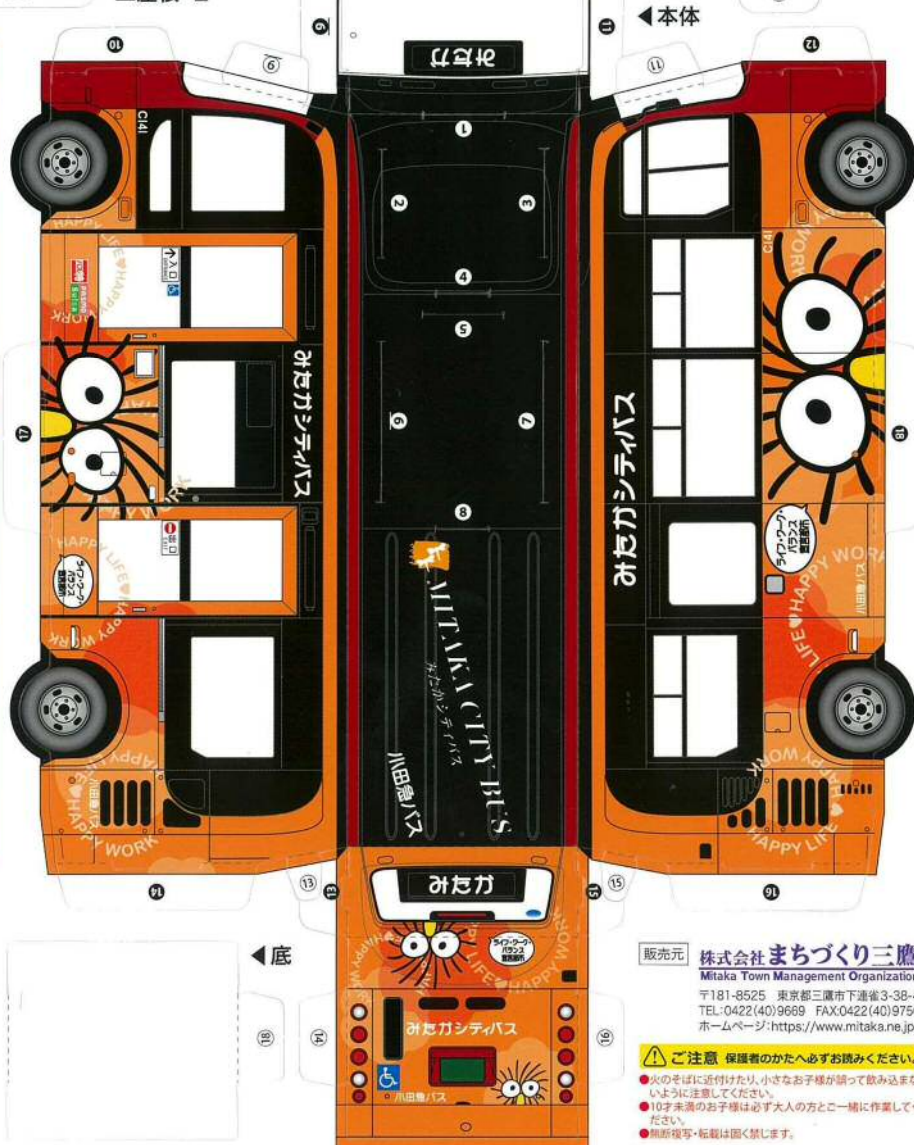
▼屋根-1

【作り方】

1. 折り線にそって、やまおりに折り目をつけます。
2. 番号順に差し込んでいきます。
3. 最後に「底」パーツの⑬を①に、⑭を②へ差し込めば完成です。

Poki

「Poki(ポキ)」は、平成13年10月に「三鷹の森ジブリ美術館(三鷹市立アニメーション美術館)」が開館したことを記念し、館主であるスタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクターです。



◀ 本体

◀ 底

販売元 **株式会社まちづくり三鷹**
Mitaka Town Management Organization
〒181-8525 東京都三鷹市下連雀3-38-4
TEL: 0422(40)9669 FAX: 0422(40)9750
ホームページ: <https://www.mitaka.ne.jp/>

⚠️ ご注意 保護者のかたへ必ずお読みください。
●火のそばに近づけたり、小さなお子様がついて飲み込まないように注意してください。
●10才未満のお子様は必ず大人の方と一緒に作業してください。
●無断複写・転載は固く禁じます。

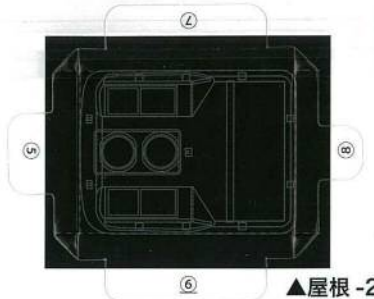
●素材表示: 本体/紙
●紙: 本体/表紙
●紙: 外装
MADE IN JAPAN

みたかシティバス

ペーパークラフト



HAPPY LIFE♥HAPPY WORK
三鷹市は、ライフ・ワーク・バランス(生活と仕事の調和)推進宣言都市です。



▲屋根-2



▼屋根-1

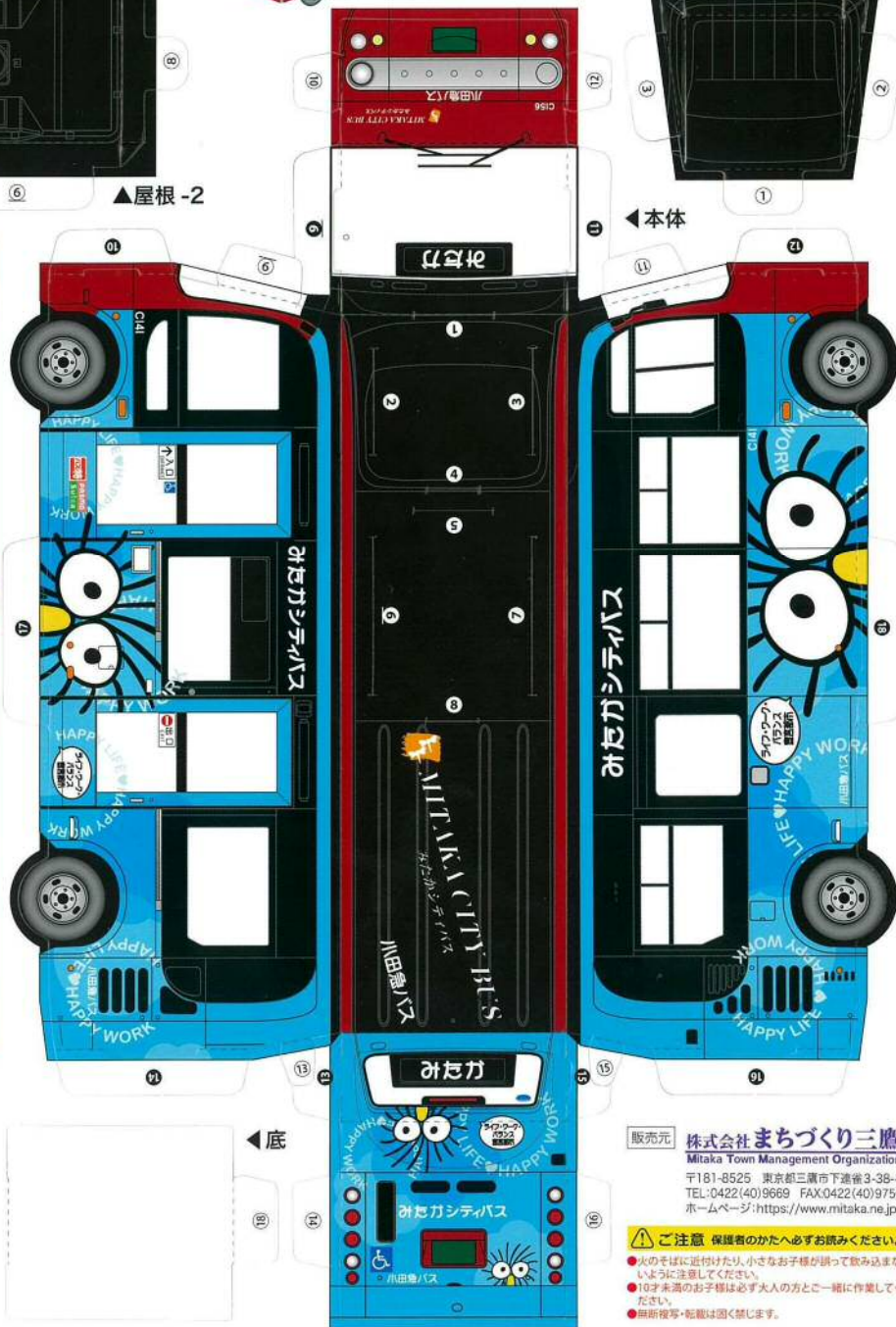
【作り方】



1. 折り線にそって、やまおりに折り目をつけます。
2. 番号順に差し込んでいきます。
3. 最後に「底」パーツの⑬を①に、⑭を⑯へ差し込めば完成です。



「Poki(ポキ)」は、平成13年10月に「三鷹の森ジブリ美術館(三鷹市立アニメーション美術館)」が開館したことを記念し、館主であるスタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクターです。



販売元 株式会社まちづくり三鷹
Mitaka Town Management Organization
〒181-8525 東京都三鷹市下連雀3-38-4
TEL:0422(40)9669 FAX:0422(40)9750
ホームページ: <https://www.mitaka.ne.jp/>

⚠️ ご注意 保護者のかたへ必ずお読みください。
●火のそばに近付けたり、小さなお子様がついて飲み込まないように注意してください。
●10才未満のお子様は必ず大人の方と一緒に作業してください。
●無断複写・転載は固く禁じます。

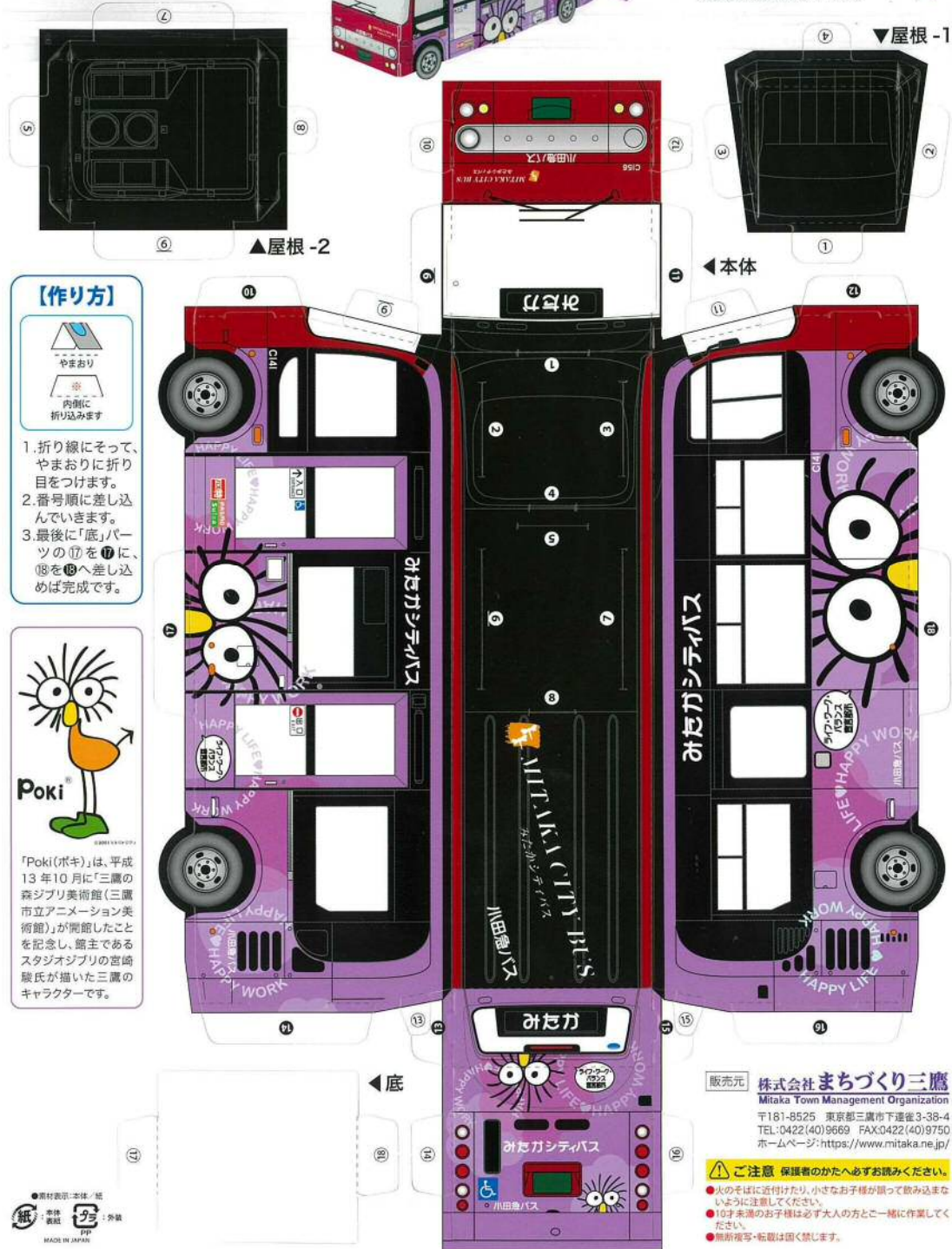
●原材料: 半紙/紙
●本体: 半紙
●底: 半紙
●外装: 半紙
MADE IN JAPAN

みたガシティバス

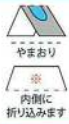
ペーパークラフト



HAPPY LIFE♥HAPPY WORK
三鷹市は、ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）推進宣言都市です。



【作り方】



1. 折り線にそって、やまおりに折り目をつけます。
2. 番号順に差し込んでいきます。
3. 最後に「底」パーツの⑪を⑦に、⑫を⑧へ差し込めば完成です。



「Poki(ポキ)」は、平成13年10月に「三鷹の森ジブリ美術館（三鷹市立アニメーション美術館）」が開館したことを記念し、館主であるスタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクターです。

●素材表示：本体／紙
紙：本体
表紙：表紙
裏紙：裏紙
MADE IN JAPAN

販売元 株式会社まちづくり三鷹
Mitaka Town Management Organization
〒181-8525 東京都三鷹市下連雀3-38-4
TEL:0422(40)9669 FAX:0422(40)9750
ホームページ: <https://www.mitaka.ne.jp/>

⚠️ ご注意 保護者のかたへ必ずお読みください。
●火のそばに近付けたり、小さなお子様がついて飲み込まないように注意してください。
●10才未満のお子様は必ず大人の方と一緒に作業してください。
●無断複写・転載は固く禁じます。

**Poki ラッピングバスのペーパークラフト配布に伴う
「ライフ・ワーク・バランス」に関するアンケート**

「Poki ラッピングバスペーパークラフト」は、三鷹市が推進する「ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）」のPRを目的として配布したものです。つきましては、大変お手数をおかけいたしますが、皆様のご意見をお聞かせいただきたく、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

- 1 **三鷹市が「ライフ・ワーク・バランス」を推進しているのを知っていますか。**
①知っている ②知らない
- 2 **三鷹市内を「Poki ラッピングバス」が走っているのを知っていますか。**
①知っている ②知らない
- 3 **今回のペーパークラフトは、「ライフ・ワーク・バランス」のPRに役立つと思いますか。**
①そう思う ②そうは思わない ③よくわからない
- 4 **Poki ラッピングバスのペーパークラフトを購入したいと思いますか。**
①そう思う ②そうは思わない ③よくわからない
- 5 **ご意見があればご自由にお書きください。**

※差し支えなければ下記にもご記入ください。

性別： 女 ・ 男	年齢： 歳代	住所： 市内 ・ 市外
-----------	-------------	-------------

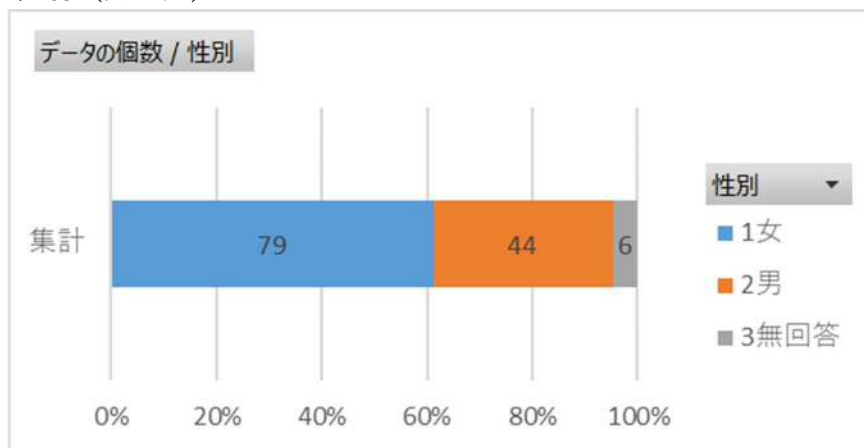
【問い合わせ先】

株式会社まちづくり三鷹
まちづくり支援グループ（鈴木）
〒181-8525 東京都三鷹市下連雀 3-38-4
TEL.0422-40-9669 Fax.0422-40-9750
URL <https://www.mitaka.ne.jp/>
E-mail info@mitaka.ne.jp

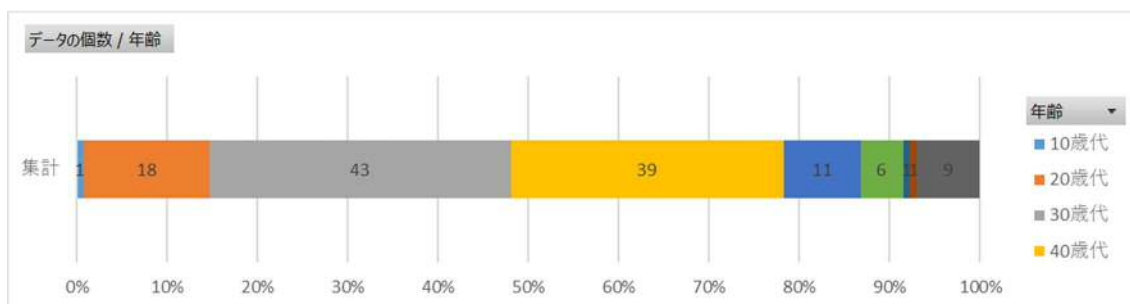
【資料3】 アンケート結果

「Poki ラッピングバスによるライフ・ワーク・バランス普及の啓発用品の開発」アンケート結果

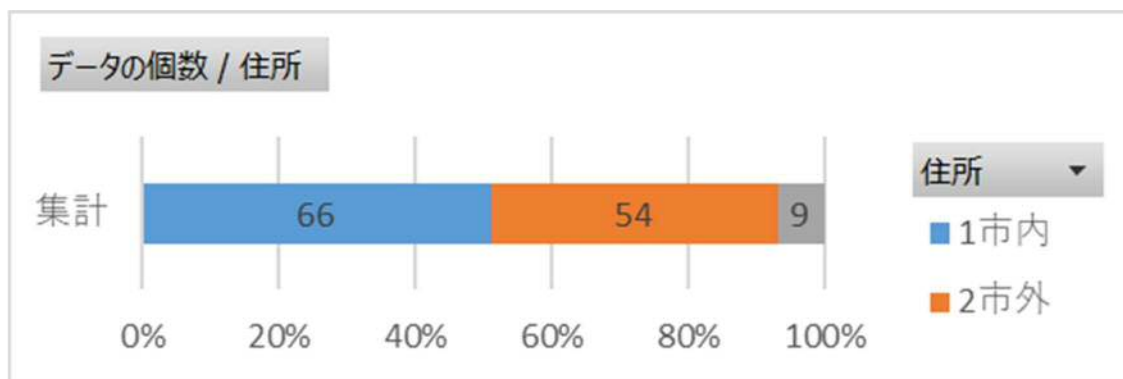
■性別（女・男）



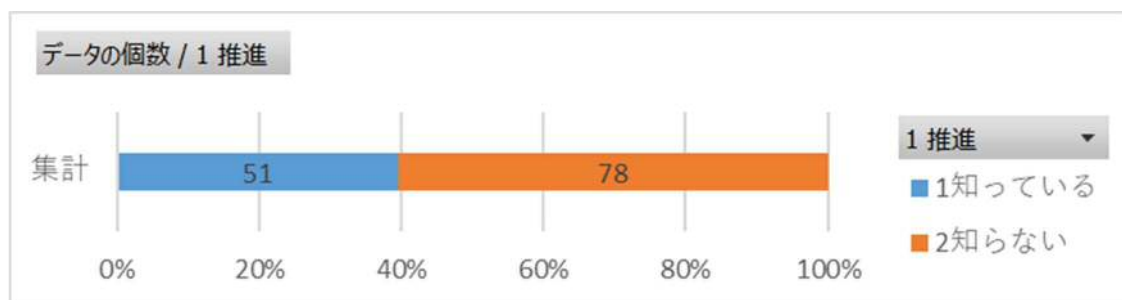
■年齢（歳代）



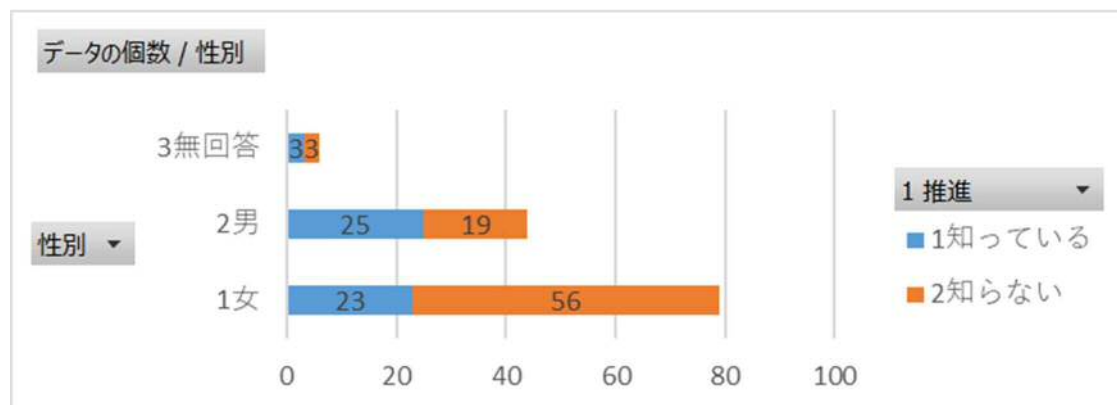
■住所（市内・市外）



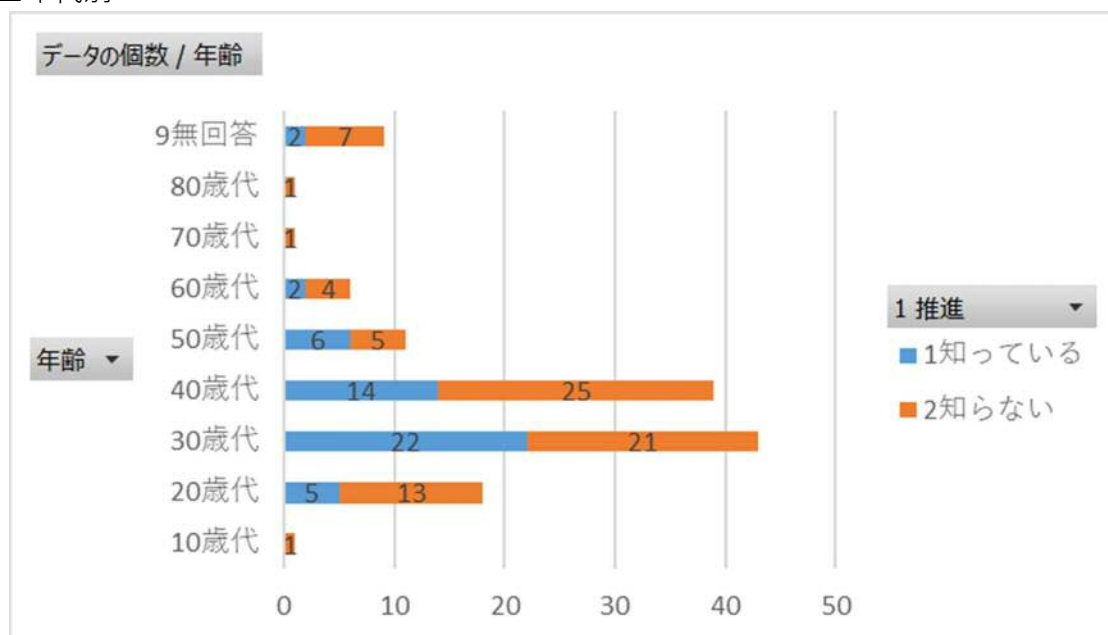
1 三鷹市が「ライフ・ワーク・バランス」を推進しているのを知っていますか。



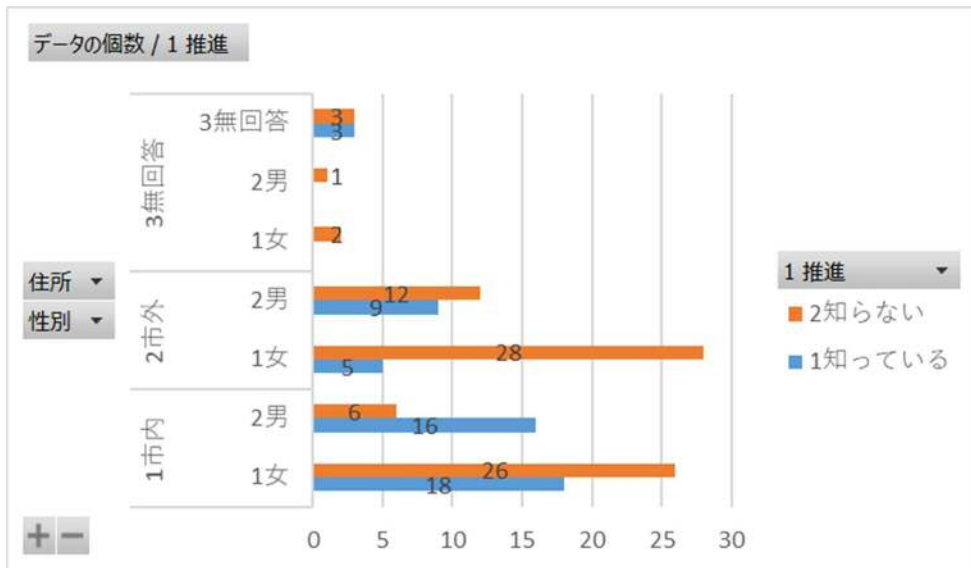
■ 男女別



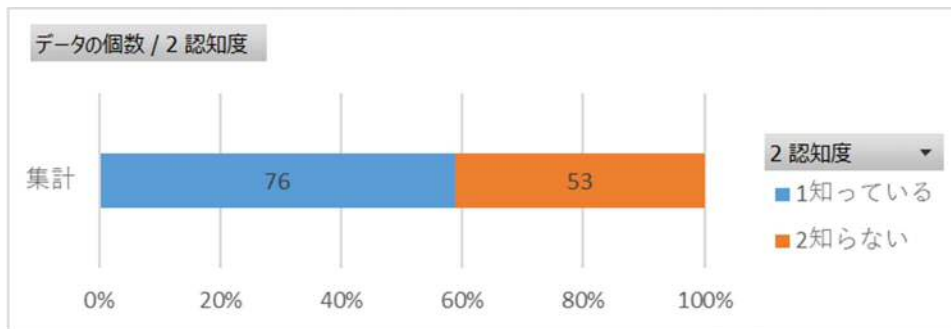
■ 年代別



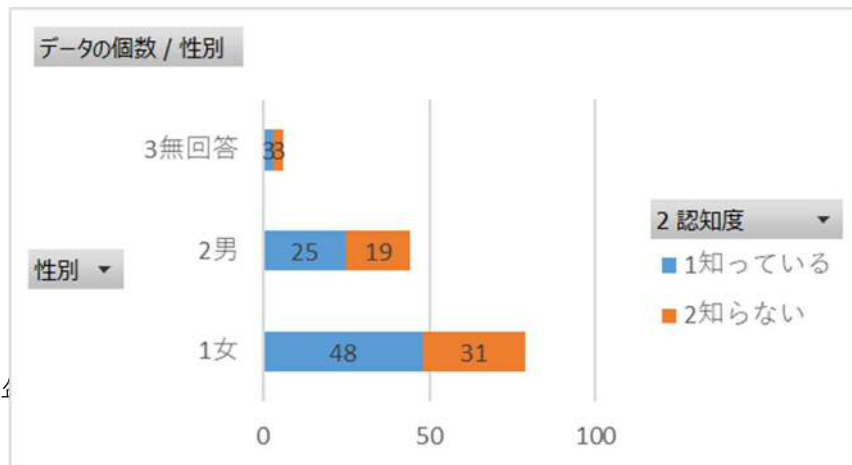
■住所別



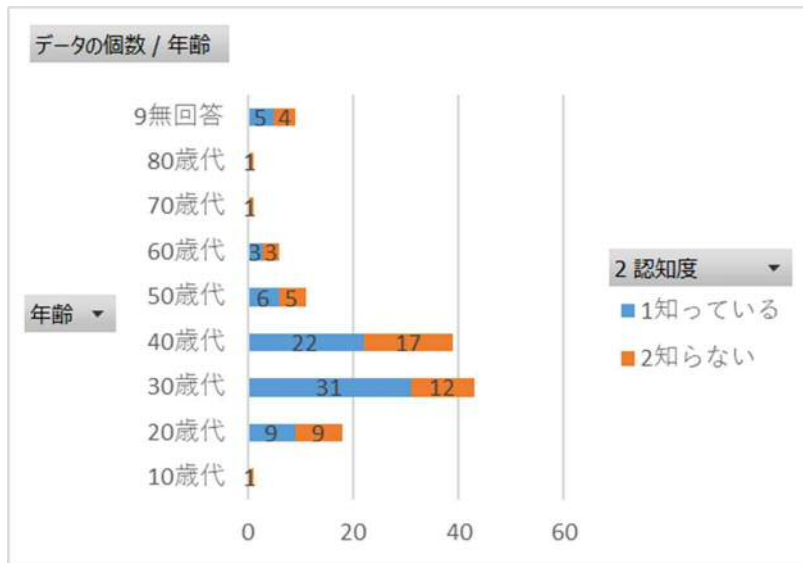
2 三鷹市内を「Poki ラッピングバス」が走っているのを知っていますか。



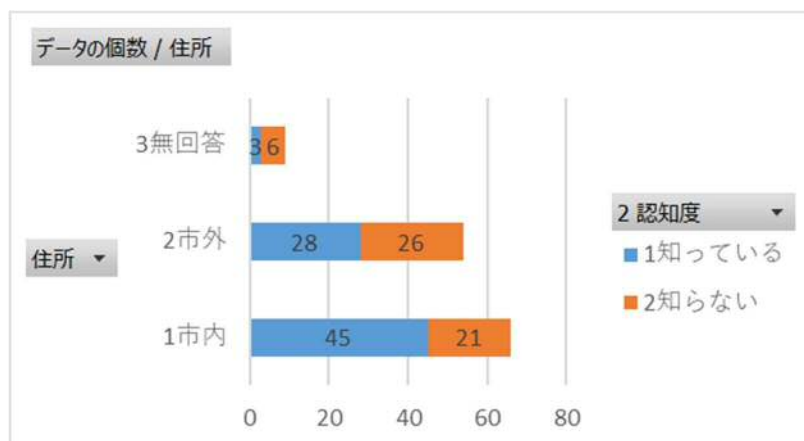
■男女別



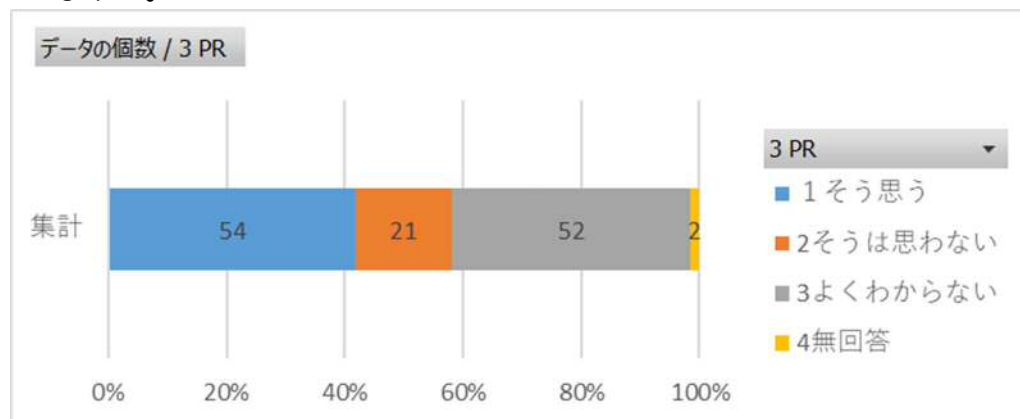
■年代別



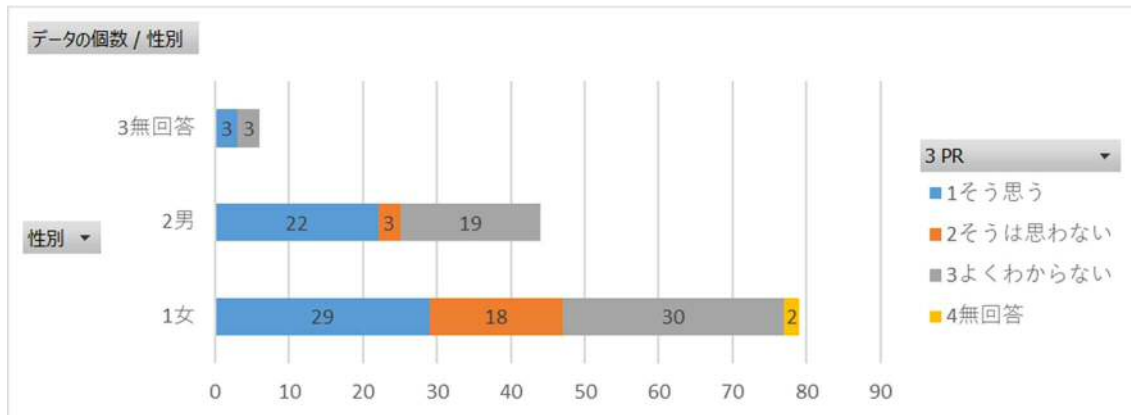
■住所別



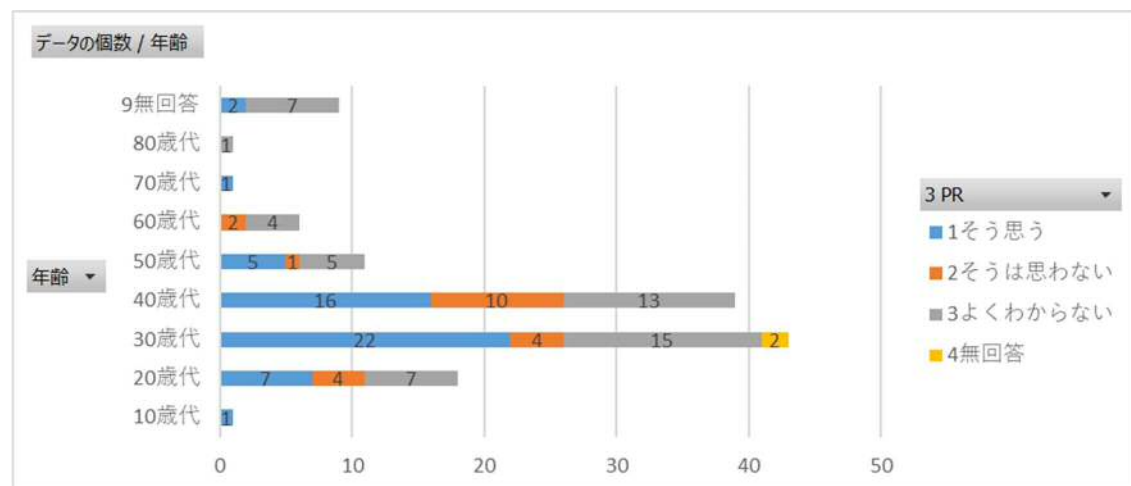
- 3 今回のペーパークラフトは、「ライフ・ワーク・バランス」のPRに役立つと思いますか。



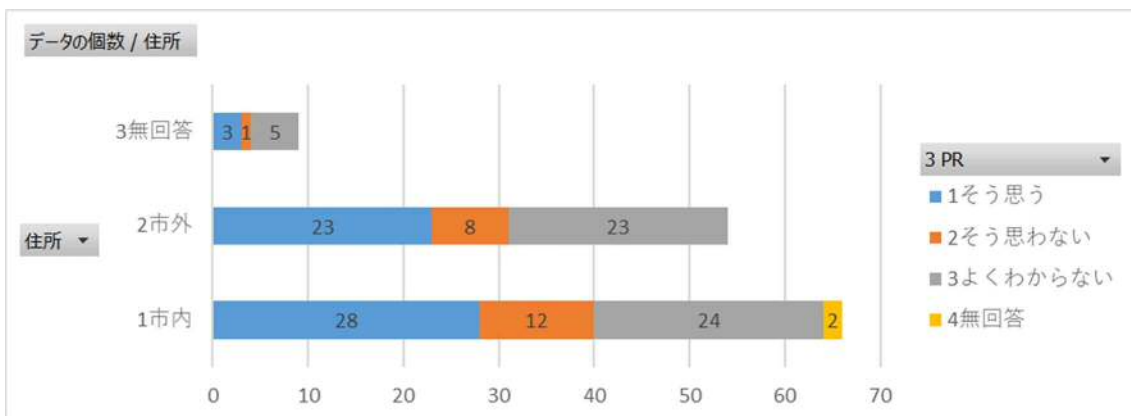
■男女別



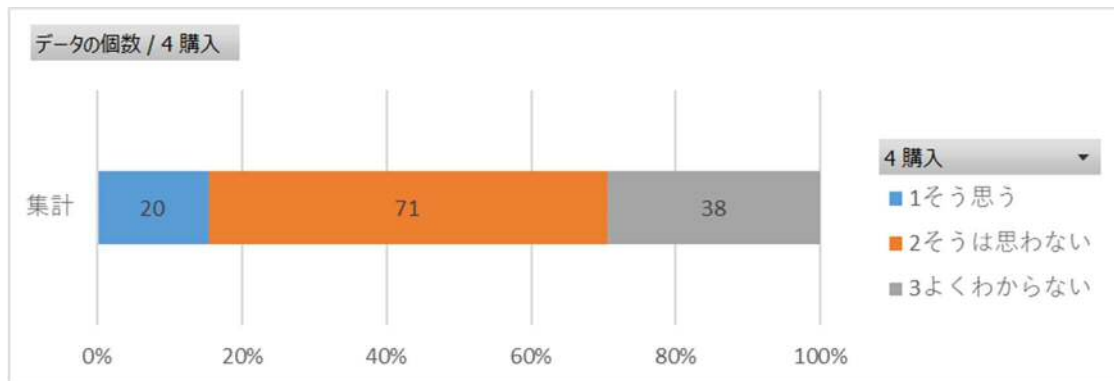
■年代別



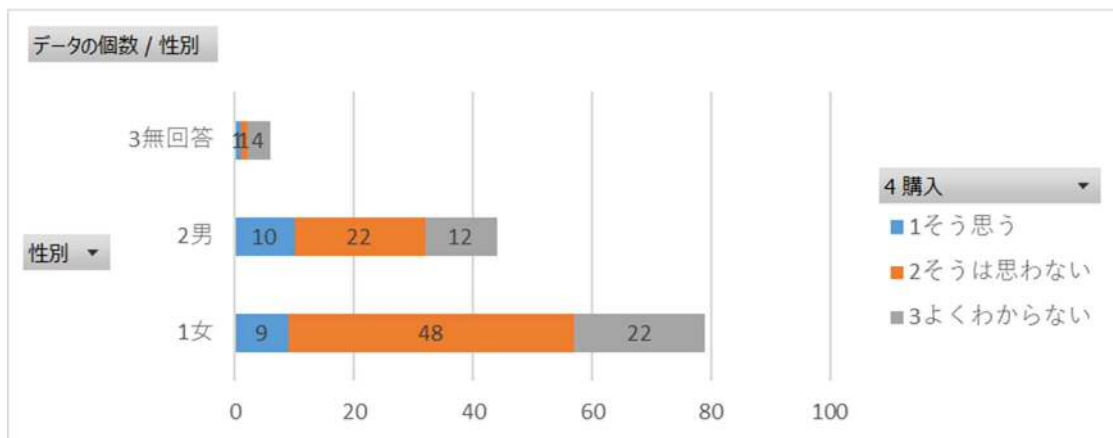
■住所別



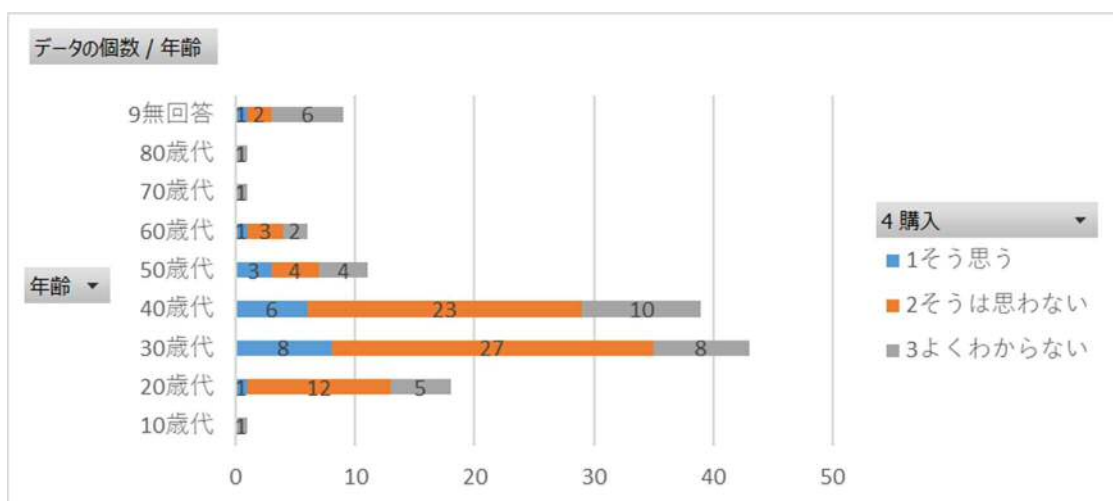
4 Poki ラッピングバスのペーパークラフトを購入したいと思いますか。



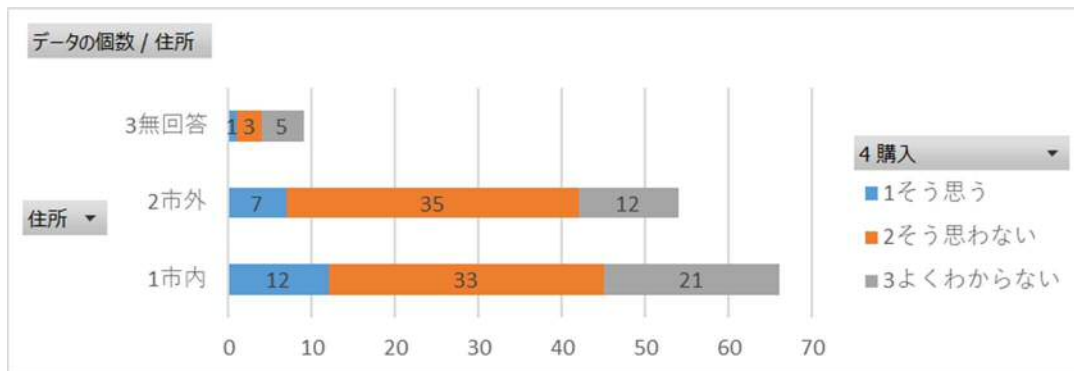
■ 男女別



■ 年代別

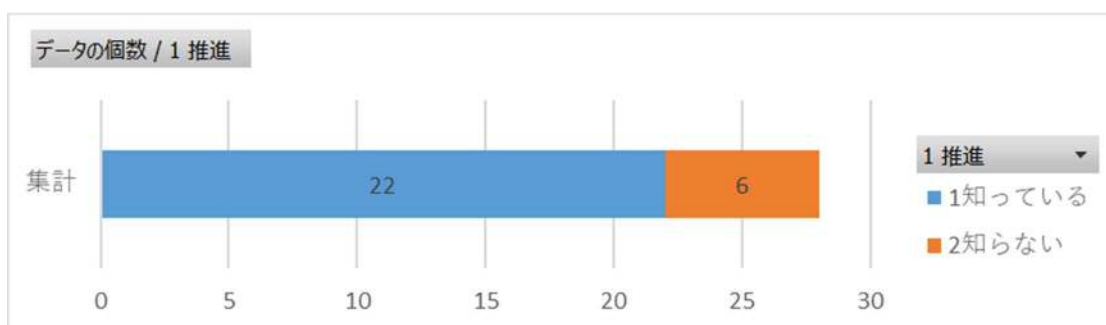


■住所別

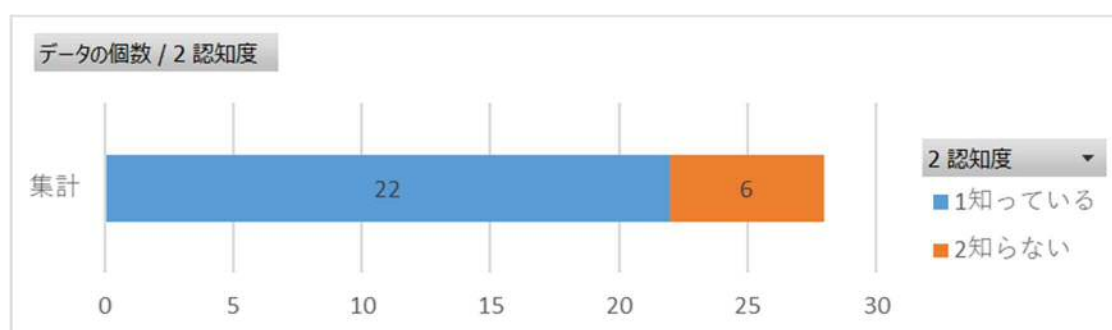


■市主催関連講座で行ったアンケート結果（集計件数 28 件）

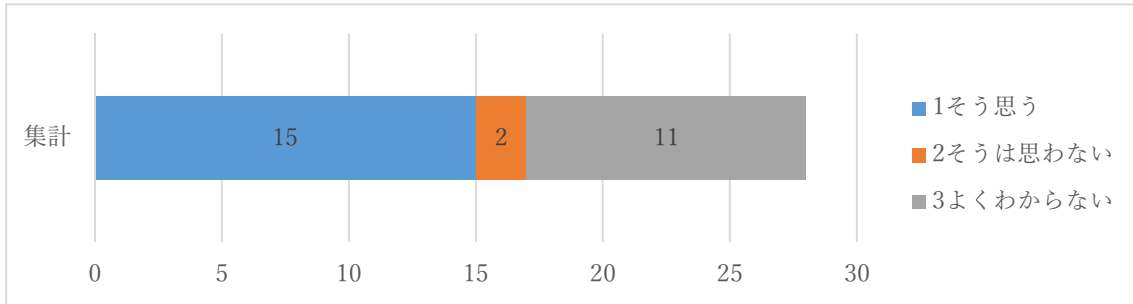
1 三鷹市が「ライフ・ワーク・バランス」を推進しているのを知っていますか。



2 三鷹市内を「Poki ラッピングバス」が走っているのを知っていますか。



3 今回のペーパークラフトは、「ライフ・ワーク・バランス」のPRに役立つと思いますか。



■自由意見

- ・ペーパークラフトが可愛いので欲しいと思いました。ライフ・ワーク・バランスに関心を持ってもらうきっかけとしては良いと思います。
- ・ミニカーが欲しいです。企画はとてもいいと思いました。
- ・良い試みだと思います。関連する他のPR、推進案など絡めるとよりよい効果が生まれるのでは。
- ・やはり三鷹と言えば「ジブリ」と連想する方も多いので、Pokiさんにはもっと活躍の場を増やしていただいてさらなる街のアピール、発展に繋げてもらいたいです。グッズのバリエーションも増やしていくべきだと思います。
- ・ライフ・ワーク・バランスをPRしている感じはあまりしませんが、ペーパークラフトはほかの市や区のバスも集めてみたい気がします。小さめのロゴは可愛くて良いと思う。
- ・すごく作りやすかったです。
- ・ジブリ美術館で販売していたら購入しているかもしれません。
- ・Pokiのピンバッジやキャラクターグッズがあれば購入したいと思います。
- ・Poki ラッピングバスは目立つので乗り物が好きな男の子などはペーパークラフトを購入すると思います。
- ・頂けるのであればいいですが、購入となるとしなない気がします。
- ・子どもが小学2年（もうすぐ3年）なので自宅用に買おうとは思わないが、もう少し小さければあるいは親戚の子どもへのお土産としたらありかと思う。
- ・子どもが喜んでいました。ありがとうございます。
- ・1歳の子どもがちょうど自動車にハマっているので、ペーパークラフトのバスはかわいと思います。ラッピングバスは見たことがあるのですがそれが「ライフ・ワーク・バランス」の推進バスとは知らなかったのもう少しわかりやすいと良いと思いました。
- ・子どもが喜びそうでいいと思いますが、女の子はペーパークラフトよりも塗り絵やシールの方が喜ぶと思います。（男の子は好きそうですね）
- ・もう少し「ライフ・ワーク・バランス」の文字を大きくした方がPR効果は高いと思いました。

- ・三鷹市の「ライフ・ワーク・バランス」の推進及びラッピングバスについて三鷹市の「コーヒー入れて！」で知りました。イベントなどで「コーヒー入れて！」とペーパークラフトをセットにして配布すると良いかもしれないと思いました。
- ・ライフ・ワーク・バランス宣言都市の字が小さいと思う。
- ・ペーパークラフトにもう少し丸みがあっても良いのでは？ 貯金箱にしてみるのはどうでしょうか？
- ・初めて Poki を見ました。
- ・カラフルなバスが走っているのは知っていましたが意図などは初めて知りました。
- ・バスのラッピングは明るい色で目立って良いと思います。
- ・ライフ・ワーク・バランスの PR になぜ Poki バスなのかがわからなかった。いろいろな色のバリエーションがあるのは楽しめそうで良かった。
- ・Poki の事は知っているのですが「ライフ・ワーク・バランス」との接点が不明確なので『Poki のバス』になってしまっている感じが強いです。「ライフ・ワーク・バランス」はとても良いことです。推進方法についてご検討頂ければと存じます。
- ・Poki がライフ・ワーク・バランスの宣伝用マスコットでもないのに、ライフ・ワーク・バランスの推進啓発に役立つという発想がズレている。子どもとペーパークラフトを組み立てることがライフ・ワーク・バランスを考えることにつながるとも考え難い。民間企業ではあり得ない啓蒙活動手段だと思う。再考する方がよいのでは？
- ・三鷹市が本気でライフ・ワーク・バランスを考えているのか疑いたくなる PR だと思います。POKI の周知度を利用しただけのバス広告だと思います。実際このクラフトを子どもと組み立てる時間を捻出するのはままならないのが現実です。もっと企業へ具体的な提案をしたり根本から考えないと、ライフ・ワーク・バランスは現実化しないと思います。
- ・「ライフ・ワーク・バランス」と今回のペーパークラフトの関連性が少し違う気がしました。ペーパークラフトは悪くないけど…。

三鷹2017 この一年

今年も残すところあとわずかとなりました。
三鷹市の一年の出来事や取り組みなどを振り返ります。

- 1月

14日 「根付一江戸と現代を結ぶ造形展」開催(三鷹市美術ギャラリー／～3月20日)

14日 平成13(2001)年に開館した三鷹の森ジブリ美術館の来場者が1,000万人を突破(写真)
- 2月

2日～ マイナンバーカードを使ったコンビニ交付本籍地サービスを開始

27日 三鷹市自治基本条例施行10年「自治基本条例ガイドブック(冊子)」(写真)とリーフレット(Web版)を発行
- 3月

2日～ ライフ・ワーク・バランスPRのため、スタジオジブリの宮崎駿監督が描いた三鷹のキャラクター「Poki(ポキ)」がデザインされたラッピングバスが運行開始(写真)
- 4月

1日 災害に強いまちづくりと多様な機能が融合した元気創造拠点「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」がオープン(写真)

1日～ 汚れたプラスチックの出し方が「燃やせないごみ」から「燃やせるごみ」に変更

9日 移動図書館ひまわり号お披露目式(写真)
- 5月

1日 都立井の頭恩賜公園開園100周年

5日 井の頭恩賜公園100歳記念ウィークで「三鷹DAY」と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたフラッグイベントを同時開催(写真)

8日 第33回太宰治賞がサクラ・ヒロさんの「タンゴ・イン・ザ・ダーク」に決定

27日 三鷹の森ジブリ美術館の新企画展示「食べるを描く。」が始まる(～30年11月予定〈予約制〉)(写真)
- 6月

12日 シンクロナイズドスイミング日本代表ナショナル(B)チームに選出された三鷹市民の北村優衣さんが、市を表敬訪問(スイスオープン「チーム競技」種目で優勝・第72回国民体育大会の少年女子デュエット第2位)

- 7月

1日～ 子育て応援モバイルサービス「ゆりかご・スマイル」を配信開始

1日 府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2017を開催

20日 井の頭コミュニティセンター図書室がリニューアルオープンし、市立図書館との相互利用が可能に(写真)
- 8月

11日 「届かない場所 高松明日香展」開催(三鷹市美術ギャラリー／～10月22日)

19日・20日 「三鷹阿波おどり50周年」を開催(写真)

21日 わんぱく相撲全国大会で優勝した児玉颯飛君が、市を表敬訪問
- 9月

22日 「庁舎等建替えに向けた基本的な考え方」を公表(10月8日に「広報みたく」庁舎等建替え特集号を発行)

22日 みたか太陽系ウォークスタンプラリーを開催(～10月22日)(写真)

29日 三鷹産小麦を使用した食パンが新発売(一小的児童も小麦づくりに参加)
- 10月

7日 天文・科学情報スペース(写真)がオープンから約2年で来場者4万人を達成

12日 三鷹市太宰治文学サロン・新宿区立林芙美子記念館協働企画展示「太宰と芙美子」開催(～30年2月25日)

18日 星と森と絵本の家で「神沢利子さんのおはなし会」を開催
- 11月

16日 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1000日前キャンペーンの公式イベント「オリンピック金メダリストによるトークショー＆フェンシング実技披露」開催

18日 寄贈記念特別展「神沢利子さんのおくりもの」開催(三鷹図書館・本館)／～12月10日(写真)
- 12月

7日 災害時には一時避難場所となる三鷹中央防災公園中央広場(写真)のネーミングライツ・パートナーが決定(2面参照)

13日～ 今年で30作品目となる「平和カレンダー2018年版」を配布



カラフルなコミュニティバスのペーパークラフトを手に

市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。

今年も残すところあとわずかとなりました。三鷹市の一年の出来事や取り組みなどを振り返ります。

今年(2017)年は、総務部長を座長に「三鷹市職員働き方改革検討チーム」の活動が開始され、全ての部の部長と関係課長、連合三多摩の役員でもある職員が参加して、適切な「職員の働き方改革」について重点的に検討が進められています。

私が願うのは、市民の皆様が、暮らしと仕事のバランスを取りながら、趣味や生涯学習、スポーツ、地域活動などを通して、充実した一日一日をお過ごしいただくことです。年末年始が、そのことを考える大切な時となりますように願います。

平成29(2017)年も大変お世話になりました。来年が、皆様にとってライフ・ワーク・バランスが進む素晴らしい年となりますよう、心から願っています。どうぞお健康やかに、良いお年をお迎えください。

市長コラム

年末年始こそ、ライフ・ワーク・バランスの実現を

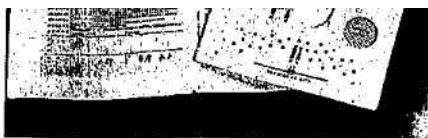
三鷹市長 清原慶子

三鷹市では平成22(2010)年に、市民の皆様が、暮らしと働き方のバランスを取っていただくことを目指して、「ライフ・ワーク・バランス」の推進を宣言いたしました。

平成28(2016)年3月には「三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。その具体的な取り組みとして、同年10月には三鷹市内の企業・事業所の皆様を対象に、働き方についての意識・実態調査を実施し、ライフ・ワーク・バランスの重要性に関するセミナーを開催いたしました。この意識・実態調査に基づいて、平成29年度は「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」として、市内のモデル企業9社に社会保険労務士を派遣し、一緒に働き方改革を進めています。

そして、今年3月からは三鷹市内を走るコミュニティバスの5ルートで、6台のラッピングバスを運行しています。車体には、「Happy Life ♥ Happy Work」の文字と三鷹のキャラクター「Poki(ポキ)」が描かれ、「ライフ・ワーク・バランス」の意義について広くお知らせしています。

働き方改革については、市民の皆様のために働く市の職員にもしっかりと考えて取り組んでもらっています。20年前から水曜日を「ノー残業デー」とし、午後10時を絶対退庁時間とするなど、働き過ぎ、休暇や育児休業等を適切に取得できるように取り組んでいます。



11月に台東
がオリジナ
ルで、複写
手元に残せ
ている。婚
いた様式で
ザインは自
同様、どこ
きる。
ンボルで挙
「タワール

先行の立川市、3500部販

に約3500部(一通千円)を販売した。「立川に来てもらいたいので郵送はせず、市内のホテルなど7店舗のみでの販売です」(市企画政策課)。実際、今年4・11月に受け付けた660件のうち、約420件が夫婦共に市外在住者だった。多様化のきっかけは、結婚情報誌「ゼクシィ」がピンクの婚姻届を2013年12月号の付録にしたこと。平山彩子編集長は「線や文字の色をピンクに変えただけで、口コミで広まり、驚くほど反響があった」と振り返る。特別なデザインが求められる背景には、婚姻届の記入や提出をSNSに投稿するカップルが増え、結婚式のブレイベントとなっていることもあるという。平山編集長は「結婚を考えるカップルと一緒に応援したい」と自治体の取り組みにエールを送る。(有吉由香)



働き方改革PR バス紙模型作製

三鷹市三セク、小学校などに無料配布へ

暮らしと仕事が調和した社会を目指す「ライフ・ワーク・バランス」を掲げる三鷹市の取り組みをPRしようと、市の第三セクターがカラフルなバスのペーパークラフトを作製し、年明け、市内の小学校などに無料配布する。「家庭で取り組みを考えるきっかけになれば」と期待している。

市によると、主に市内5ルート走るコミュニティバス6台に、今春から市のキャラクター「Pokki」などをあしらって「ライフ・ワーク・バランス」の取り組みを伝えている。この

6色のバスを今回、ペーパークラフトにした。組み立て後の車体は長さ14.5センチ、幅4.5センチ、高さ6.5センチ。子どもでも接着剤なしで簡単に組み立てられる。

来年1月以降、市立小1、2年生(3千部)や市内保育園の園児(1300部)、市の催しの参加者らに配布する。

市は2009年度、市民、事業者、市職員ら全ての人の仕事と生活の調和を目指すとして「ワーク・ライフ・バランス」を宣言。16年度に「生活が優先だ」と、「ライフ・ワーク・バランス」に表現を改めた。

て8強入りした。男子は八王子が柳ヶ浦(大分)を96-80で下して初戦突破。実践学園は岡山芸芸館に101-68と大勝し、ともに3

5年連続出場の大王子は、下級生主体で今大会に臨んでいる。第1ピリオド

(P)は2点リードを許して終えた。唯一の3年生メンバーで主将の菅野恵登は

場できなかった。菅野は「この冬にかけている。自分が声を出し続け、後輩たちを引っ張っていききたい」と気を引き締めた。(辻健治)

話題山積

移転

でも、築地の再開発が不明瞭なまま移転日が決まってしまう、築地の何を守ると

いうのか。水産仲卸の宮原洋志さん(66)は、築地市場跡地を「食のテーマパーク」にするという知事の再開発構想が見えてこない現状に疑問を呈する。

一方、同じ水産仲卸の小川万寿男さん(49)は「激化する競争に生き残るには、豊洲の進んだ市場設備が必

須。昨秋の移転でも遅いくらい」と語り、2年遅れた移転に焦りをみせる。知事の姿勢を、前向きに評価する声もある。

「予定のままで開場していたら、(豊洲市場は)大混乱に陥っていた。8月、都議会が都民ファーストの会の都議はそう述べた。

昨年は土壌汚染対策の盛り上がり土がなかった問題が発覚。今年には地下水から環境

本方針を示したが、知事は「最後の決めは人工知能。政策決定者である私が決めた」とけむに巻き、詳しい決定過程は今も不明だ。その基本方針が新たな問題も生んだ。豊洲市場内の商業施設「千客万来施設」の事業予定者が、築地再開発との競合を不安視し、撤退を検討。地元・江東区は、今年度中に解決のめどをつけるよう都に求めている

がん征圧資金
日本対がん協会
0335414771
140万円 キヤゲン▽100万円 MSD、サノフィ、博報堂
DYホルムデンクス▽50万円
富士フイルムメディカル▽39万1千円
三菱東京UFJ銀行▽39万1千円
三菱東京UFJ銀行社会貢献基金▽30万円
日本CA▽20万4千円
三菱UFJインフォメーションテクノロジー▽15万9千円
サミー東京支店▽15万円
全日本銀行協会▽10万円
ファイザー、ビーエス朝日、三協印刷、三菱UFJインフォメーションテクノ

朝日ふれあい募金
朝日新聞厚生文化事業団
2万円 練馬区・鍋田裕子▽1万5千円
足立区・増田利子▽1万1千円
中央区・朝日新聞社員有志フェスティバル▽1万円
中央区・大部智洋、新宿区・安室礼三、品川区・仙頭邦子、目黒区・塩沢玲子、高谷進、田口日佐夫、世田谷区・杉本淳子、豊島区・清水美佐江、北区・山崎澄子、板橋区・佐藤勇二、和子、森島賢治、荒川区・山崎敏光、練馬区・鹿見島成恵、葛飾区・中村翠子、八王子市・青木房江、小谷田桂子、小平市・中條依久雄▽5千円
文京区・西川仁、世田谷区・宮澤美子、足立区・川端章一、百代、笹嶋武子、山口一男、葛飾区・高橋千枝子、八王子市・森重子、三鷹市・矢野達、信子▽3千円
港区・小林優子▽2千円
練馬区・堀さちこ
【東日本大震災救援】5千円
調布市・阿久津百合子、敬称略
△朝日ふれあい募金へのご寄付は郵便振替(00130・1・9

改装

年末セール

(先着50セット)

日本ペイント

外壁塗

段差の和式便器

三和衛器

問 スポーツ推進課 ☎ 内線2931

※各施設の利用料金・時間など、くわしくは市ホームページでご確認ください。

※講座の詳しい内容については、市ホームページでご確認ください。

同計画は、市全域(市民・事業者・市)から抽出した「区域施策編」と、市の事務事業から抽出した「事務事業編」に区分しています。